

## 令和3年度 部局経営方針

部局名	商工観光部	部局長名	長友 正博		
部局の経営資源	職員数 (人)	現計予算額 (千円)		令和3年度中に策定した計画 (根拠法令等)	
	正職員	19	一般会計	3,185,367	日向市ポストコロナ観光戦略
	再任用職員	2	特別会計	0	
	会計年度任用職員	2	前年度繰越額(千円)		
	任期付職員	0	一般会計		
			特別会計		
総合計画に基づく部局の経営戦略	1. 商工部門				
	【基本姿勢】				
	商工観光部は、「新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち」づくりに向けて、地域経済の振興とにぎわい創出のための各種施策に取り組みます。「日向市中小企業振興条例」や「細島港を核としたグランドデザイン」などの各種計画に基づき、関係機関と連携しながら、産業の集積や中小企業の振興、雇用の創出、人材育成等の施策を実施し、重点戦略に掲げる「若者と女性に選ばれるまち“日向”」の実現を目指します。				
	【総合計画・基本理念】				
	総合計画に掲げる「人権尊重」「市民協働」「地域力活用」の基本理念に基づき、以下の事業に取り組むことで、「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる 元気なまち」の実現を目指します。				
	(1) 重要港湾・細島港の物流機能の強化・効率化や新たな定期航路の誘致などに取り組み、物流拠点を核とした産業振興を目指します。				
	(2) 港を活用した地域のにぎわいづくりのために、魅力ある親水空間の創出に向けた取組を行います。				
	(3) サーフィンなどの日向市の魅力を生かしたワーケーションなどの取り組みを通じ、本市の関係人口の増加と企業誘致の実現を目指します。				
	(4) 優良で魅力的な企業立地の促進及び地元企業の成長、発展により、多様な職業、就業が選択できる環境づくりを推進します。				
	また、企業が必要とする人材を確保するために、都市部からのUIJターンの促進や質の高い人材の育成に取り組みます。				
(5) 企業の人材育成の支援や経営力の強化を図ります。					
(6) 日向市産業支援センターによる継続的な支援により、中小企業等の「強み」を生かした売上げの向上を図るとともに、起業者育成にも取り組みます。					
【総合計画・基本目標】					
総合計画に掲げる以下の基本目標の実現に向け、それぞれの施策を展開します。					
(1) 産業振興:「新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち」					
○ 異業種間のマッチングによる販路拡大や新分野への進出を支援し、人材育成や新規雇用の創出に取り組みます。(3-4)					
○ 創業や新分野への進出を促進するために、事業に必要な知識や技能を習得する研修会の開催などを支援します。(3-4)					
○ 企業が必要とする人材を供給していくために、都市部からのUIJターンの促進するとともに、質の高い人材を育成します。(3-4)					
○ 地場産品事業者の振興のため、物産展の開催や新商品開発、販路拡大に向けた支援を図ります。(3-4)					
○ 日向ひとものづくりセンターなどと連携し、ものづくり技術の向上や若手技術者の育成、第2次産業の雇用の確保などに取り組みます。(3-5)					
○ 多様な人材が働ける場所を確保するため、関係機関との連携を強化し、企業への啓発活動や相談支援体制の充実を図ります。(3-5)					
○ 雇用機会の創出を図るため、セミナーや就職説明会を開催するなど、移住(UIJターン)を促進し、就業人口の拡充に努めます。(3-5)					
○ 細島4区工業団地への企業誘致に取り組むとともに、新たな工業用地の確保に努めます。(3-6)					
○ 多様な企業の誘致を進めるために、企業ニーズに対応した支援策の構築に努めます。(3-6)					

## 【総合計画・基本目標】

(2) 社会基盤:「快適で魅力ある機能的な住みやすいまち」

- 「細島港湾計画」の着実な実行について、国や県に働きかけます。(5-5)
- 課題に対応した細島港の整備に向けて、関係者や地元との調整などに協力します。(5-5)
- 機場の自然環境を守るために、ブルーカーボンに関する啓発活動や自然保全活動の促進に取り組みます。(5-5)
- 関係者と連携し、新たな憩いとにぎわいの場となるよう商業港地区の緑地エリアの整備を促進します。(5-5)
- 県外へ流出している貨物や他県からの貨物を細島港に定着させるため、物流体制とポートセールスの強化、貨物集荷に対する支援等を推進します。(5-5)

## 2. 観光部門

## 【基本姿勢】

「新しい日向市観光推進計画」の最終年度にあたる令和2年度においては、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国内外への渡航は制限され、インバウンドは消滅し、国内においても緊急事態宣言による外出や移動の自粛が要請されるなど、旅行需要は激減しました。

このような状況のなか、本市においても、GOTOトラベルにあわせ、隣県等に向けた域内観光商品造成や宿泊キャンペーン等の誘客事業に取り組みましたが、結果的に旅行需要や地域経済の回復には遠く及ばず、令和2年度の市内観光入客数等は前年を大きく下回りました。

今後、速やかにワクチンの接種が行われたとしても、発生前の状況に戻るには、しばらくの期間が必要と考えられるため、令和2年度に予定していた新たな計画の策定を一年先延ばしし、令和3年度中に、臨時的に「新しい生活様式」状況下での観光対応、施策を考える「ウィズコロナ期観光戦略」を策定することとしています。

なお、令和3年度は、「新しい日向市観光推進計画」の基本方針を継承しつつ、第2向日向市総合計画後期基本計画に掲げた具体的な施策や、さらに観光の再生に向けた観光関連事業者の支援やターゲットを捉えた情報発信等に取り組みます。

## 【総合計画・基本理念】

本市のまちづくりを進める上で尊重されるべき「人権尊重」「市民協働」「地域力活用」の基本理念に基づき、以下の事業に取り組むことで、「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる 元気なまち」の実現を目指します。

## 【総合計画・基本目標】

3 新たな挑戦で活力のある産業が育ち、元気な人が集うまち

3-7 地域を活性化する観光の振興

(1) 地域資源を生かした観光交流の推進

- 差別化された観光プロモーションや「新たな生活様式」に対応した観光コンテンツの造成に取り組みます。
- 既存観光資源や伊勢ヶ浜門前まち、細島地区、美々津地区、東郷地区及び中心市街地を生かした周遊型観光を推進します。
- 子供たちの遊び場や市民の憩いの場となる屋外環境を創出するため、日向サンパーク内に大型遊具やドッグラン等を整備します。

(2) 広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり

- インフラツーリズムやサイクルツーリズムなど県や近隣市町村と連携し、広域的な観光事業に取り組みます。
- 観光客の動向を分析し、多様な情報発信ツールを活用した効果的で魅力を感じる情報発信に努めます。

(3) リラックス・サーフタウン日向の推進

- 国内外のサーフィン大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。
- ビーチを楽しむ環境づくりに取り組みます。
- お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。

- (4) 牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり
    - 牧水公園のふるさとの家の改修や野外キャンプの需要の高まりに合わせた、地域の魅力を情報発信します。
  - (5) 重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり
    - 滞在型・体験型観光メニューの造成を支援し、広く情報発信します。
  - (6) スポーツタウン日向の推進
    - プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプ、大会の誘致に取り組みます。
  - (7) 新たな関係人口の創出
    - 旅行者や全国のひよつとこ踊り愛好者、各種イベント参加者、クルーズ客船寄港者など、日向市と関わりをもった方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。
  - (8) 観光関連事業者の経営継続に向けた支援
    - 新型コロナウイルスにより疲弊した市内観光関連業者に関し、経営継続に向けた各種施策の推進を行います。
  - (9) アフター・コロナ期を見据えた誘客プロモーション等
    - 観光消費喚起事業として、「日向ファン拡大プロモーション事業」により、プロモーション動画、ポスター、ノベルティの制作を行い、総合的なプロモーションを展開するとともに、参加体験型観光イベント「日向ファン拡大推進事業」を実施します。
- 【行財政改革大綱に基づく行動計画】
- 第三セクターの経営健全化
    - (株)日向サンパーク温泉による経営継続断念により休館中である「温泉館」の施設譲渡による民設民営による再開を目指すとともに、大型遊具等の施設整備による来場者増による経営の健全化を図ります。
  - 公営企業等の経営健全化
    - (株)東郷町ふるさと公社が指定管理を行う「牧水公園ふるさとの家」他施設について、老朽化した施設の改修を行うとともに、食事処の「牧水庵」を民間に貸し出し、稼働させることで、牧水公園の利用者の増加につなげ、経営の健全化を図ります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の実績内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	1 未へなるづくり	2 安心して産育てるみ子育てプロジェクト	5 女性の躍進	-	3 女性の再就職に向けた支援を行います。	商工港湾課	[新型コロナ対策] 就職支援事業	372	出産や子育て等で再就職を目指している女性を対象にした就職説明会及びセミナーを開催します。	就職説明会及び就職応援セミナーの女性参加者数	25	人	33	A	令和3年8月に開催を予定していた就職説明会については、開催直前に新型コロナウイルス感染症がまん延したことにより中止となりました。 10月以降は、運営を再開した日向市地域雇用創造協議会が主催する就職説明会及び再就職応援セミナーの開催を支援しました。 ハローワーク日向、関係機関等との連携により、女性参加者数については、目標を上回りました。	ハローワーク日向等関係機関と連携を密にすることで、目標の女性参加者数を上回ることができましたが、そのうち実際に就職に繋がった人の割合は、8人でした。	女性参加者のうち就職に繋がった人の割合を高めるため、ハローワーク日向等と連携し女性求職者のニーズ把握に努め、募集方法、開催時期、講師選定、カリキュラム等の見直しを行っていきます。
2	2 力を生み出すにぎわいづくり	1 力を生み出す「とづくり」プロジェクト	1 若者が活躍できる業誘致の推進	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数 (累計)	1 国内主要都市での企業立地セミナーを開催します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	展示会等を活用した企業誘致や販路拡大支援等に取り組むとともに、アフターコロナに向けての新たな働き方にも対応する企業誘致への対応を検討します。	企業立地セミナーへの参加回数	2	回	2	A	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、現地(対面)でのセミナー参加が難しい状況が続いています。オンライン・セミナーに1回参加し、日向市の企業誘致の奨励措置等を紹介しました。	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現地(対面)でのセミナー参加が難しい状況が続いています。オンライン・セミナーにも参加していますが、視聴者にどのように日向市をPRしていくかが課題と認識しています。	今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、対面・オンライン両面でのセミナー等へ参加します。オンラインについては、魅力的な情報発信の手法の研究も合わせて行います。
3				【R6】20件	2 県外企業などの本社機能移転や地元企業の本社機能拡充などを促進します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	地元企業の本社機能の拡充に取り組むとともに、コロナ禍により地方への移転を検討する企業等に向けて、本社機能移転の提案を行います。	企業訪問等の企業への接触	100	社	180	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面形式での企業訪問の機会は減少していますが、オンラインや電話でのヒアリングを進めました。	本社機能移転を検討している企業の情報が少ないため、情報収集の場が必要な状況です。	本社機能移転を検討する企業の情報収集に努めるとともに、地元企業の拡充等を重点的に支援していきます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
4					3 細島4区工業団地の市有地について、企業立地や工場企業の事業拡大に向けた情報発信に取り組みます。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	企業訪問や企業立地セミナーへの参加等により、最新の企業ニーズの把握に努めるとともに、都市部からのUIJターンの促進や優良な人材の育成を通じ、新たな企業の誘致や地元企業の発展・成長を推進します。	企業立地セミナーへの参加回数	2	回	2	A	コロナ禍であったものの、これまでの企業誘致活動の結果、令和3年度は、5社(指定業種4社、その他の業種1社)の立地企業を認定しました。	H30年度末に購入した細島4区工業団地用地が令和2年度に完売しており、工業用地不足が課題となっています。	民有地を活用した企業誘致のマッチングを推進するとともに、新たな工業用地の掘り起こしに務めます。
5	2 活を生み出すにぎわいづくり	1 活を生み出すにぎわいづくり	1 若者や女性が活躍できる企業誘致の推進	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数(累計) 【R6】 20件	4 IT事業者などを対象に、空き店舗・空き家を活用した企業誘致に取り組みます。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	ワーケーションやサテライトオフィス、コワーキングスペースといった新しい働き方に対応する誘致施設への企業誘致に向け、情報収集と企業へのアプローチに取り組みます。また、ワーケーション実証実験に参加する企業、個人への誘致に向けた情報提供等を行います。						情報サービス産業における誘致企業の掘り起こしを目的とした「誘致対象企業リサーチ業務」を通じて、IT事業者とのマッチングを行い、企業ニーズの把握や日向市の課題の抽出を行いました。	IT事業者の企業誘致にあたり、事業者のニーズに対応する物件が少ないことが大きな課題となっています。	企業ニーズに対応した物件情報の収集に取り組みます。
6					5 IT関連技術者の育成及び県外からのIT関連従事者の移住(UIJターン)を促進します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	IT技術者の育成や、高度な技術を持ったUIJターン者の確保に取り組むとともに、その受け入れ先となる関連企業の誘致に取り組みます。						情報サービス産業における誘致企業の掘り起こしを目的とした「誘致対象企業リサーチ業務」を通じて、IT事業者とのマッチングを行い、企業ニーズの把握や日向市の課題の抽出を行いました。	「IT事業者が進出先に求める要件」として、人材育成と答える企業が多いため、市内に該当する機能がないことが潜在的課題となっています。	企業ニーズに対応したIT人材の育成に向けた取り組みを進めます。



様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
7		2 強みを活かした「移れる」産業振興プロジェクト	2 強みを活かした新たな産業の拡大	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数(累計) 【R6】20件	2 電池産業に対する事業拡大を支援します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	引き続き、工場の新設や増設等に対して、企業立地促進条例に基づく支援をしていきます。	企業訪問等の企業への接触	100	社	180	A	企業との情報交換を積極的に行い、令和3年度は、関連事業者の増設の立地認定が実現しました。	製造ライン増設には広大な用地を必要とするケースが多いことから、工業団地内の用地不足が今後、課題となる可能性があります。	更なる事業の拡大に向け、引き続き、積極的な意見交換を進めるとともに、工業用地の掘り起こしについても進めていきます。
8	2 活力を生み出すにぎわいづくり	1 活力を生み出す「とづくり」プロジェクト	2 中小企業、規模事業者への支援	-	1 「日向市産業支援センター」を運営し、中小企業の抱える様々な悩みや相談・課題解決策の提案を行います。	商工港湾課	ひむかーBiz運営事業	146	「日向市産業支援センター」を運営し、販路拡大や新たな分野への進出、若者や女性の起業を後押しするため、細やかな経営相談とフォローアップを行います。	相談件数	480	件	442	A	市内商工業者の経営安定、新規起業、事業承継等の推進を図るため、日向市産業支援センター「ひむかーBiz」において、経営相談やセミナー等を行いました。相談事業者は、専任のコーディネーターによる伴走型の支援・アドバイスにより、販路拡大や売上アップ、新分野進出等の成果をあげています。	目標の相談件数は概ね達成しましたが、今後さらに伸ばしていく必要があります。また、市民に対し「ひむかーBiz」の存在及び事業成果の認知度が低いことも課題としてあげられます。	「ひむかーBiz」の事業内容及び成果を積極的に発信し、相談件数を伸ばしていくとともに、市民に応援される相談機関となるよう成功事例をメディア等を通じて積極的にアピールしていきます。
9				-	2 事業計画、商品開発、資金調達、販路開拓に至る支援や起業に関する相談・支援を行います。	商工港湾課	ひむかーBiz運営事業	146	日向地区中小企業支援機構、日向市産業支援センター、日向商工会議所、東郷町商工会、日本政策金融公庫等関係機関との連携を強化し、商工業者及び起業希望者等の支援を行います。	市内で起業した件数	10	件	12	A	関係機関等との連携会議における情報交換やコーディネーターによるきめ細やかな相談とフォローアップにより、「ひむかーBiz」開設以来、最高の実績となりました。また、女性起業家を対象とした「WOMAN Biz」(15人参加)を開催し、女性起業家等のネットワークの構築を図りました。	「ひむかーBiz」のコーディネーターが1名であるため、支援内容や相談件数には限界があります。	引き続き各支援機関と連携するとともに、Bizの全国ネットワークを活用する等、支援内容の充実を図ります。また、必要に応じITの外部アドバイザーを活用し、市内事業者のデジタル化の推進を図ります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
10					1 人材育成セミナーや雇用拡大セミナーなどを実施します。	商工港湾課	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	143	日向地域雇用創造協議会を開催するとともに、運営再開を支援します。	日向市地域雇用創造協議会が主催したセミナーの参加者数	65	人	61	A	令和3年10月から厚生労働省の地域雇用活性化推進事業に取り組む日向地域雇用創造協議会の運営再開を支援しました。 また、運営再開後に同協議会が取り組む求職者や事業者を対象としたセミナーや就職説明会の開催を支援しました。	人手不足が顕著な状況ですが、セミナー参加者の内、就職に繋がった人の割合は23%でした。	ハローワーク等との連携を強化し、募集方法、開催時期、講師選定、カリキュラム等を見直すなど、就職に繋がる人の割合を高めていきます。
11	2 活をみ出すにぎわいづくり	1 活をみ出す「とくプロジェクト」	3 産業人材の確保と誰もが働ける環境の充実	新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数(累計) 【R6】200人	3 地域ナレッジ情報サイトを活用した求人など総合的な情報発信を行います。	商工港湾課	就業支援に要する経費	143	既存の就職情報ポータルサイトを統合し、就職や福祉、くらしの情報等の充実・一元化を図り、情報発信の強化に努めます。	「ひゅうがJOBナビ」の企業情報掲載数	65	者	66	A	就職情報ポータルサイト「るーくる」を閉鎖し、就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」に統合しました。 統合されリニューアルした「ひゅうがJOBナビ」では、市内の企業情報やハローワーク日向の求人情報、セミナー情報が閲覧できる等、内容充実を図っています。	リニューアル後期間が浅いことから、次年度以降にPV数等の分析を行うこととしています。	PV数等の分析を定期的に行うとともに、多くの方にサイトを活用していただけるよう、広報活動を強化します。
12					4 高校生・大学生、都市部の地元出身者などを対象とした就職説明会を開催します。	商工港湾課	就業支援に要する経費	143	若者の人口流出を抑制するため、高校生を対象とした就職準備セミナー等を開催します。	高校生就職準備セミナーの回数	1	回	0	C	年度当初から管内高校と連携しながら同セミナーの準備を進めていましたが、開催時期に本市がまん延防止等重点措置の区域指定を受けたことにより、中止としました。	高校生の就職状況、課題等に関する情報収集の機会が少なく、その要因を分析できておりません。	管内の高校、市内企業、ハローワーク日向、関係機関等の意見交換の場を設け、高校生の就職状況の共有を図ります。
13	2 活をみ出すにぎわいづくり	1 活をみ出す「とくプロジェクト」	4 ワーク・ライフ・バランスの推進	-	1 ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組めます。	商工港湾課	商工業振興事業	145	労働者が長く働き続けられる環境を目指し、退職金共済等の加入を促進する等、企業の労働環境の改善を支援します。	退職金共済制度の新規加入者数	200	人	246	A	退職金共済等の加入を促進するため、中小企業退職金共済加入促進事業補助金を交付し、企業の労働環境の改善を支援しました。	新規加入者数は目標以上の成果を上げていますが、新規に加入した企業は多くありません。	新規加入企業の目標を設定し、商工会議所等と連携し、退職共済制度の周知徹底、加入促進を図っていきます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
14		1 活力を生み出す「とくプロジェクト」	4 ワークライフ・バランスの推進	-	2 ワークライフ・バランスなどに取り組む優良企業を認定し、社員が生き生きと働くことができる環境づくりを促進します。	商工港湾課	商工業振興事業	145	ワークライフ・バランス等に取り組む優良企業を認定し、社員が生き生きと働くことができる環境づくりを推進します。	「社員が輝く！先進企業」の認定件数	1	件	1	A	ワークライフ・バランス等に取り組む優良企業(1社)を「社員が輝く！先進企業」に認定しました。	「社員が輝く！先進企業」の認定制度、認定企業の周知・啓発が不十分であり、認定の利点が明確でない状況にあります。	「社員が輝く！先進企業」認定制度を見直し、企業の利点を明確にし、積極的に制度や認定企業の周知・啓発を図っていきます。
15	2 活力を生み出すにぎわいづくり	2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	1 細島の機軸と物流の促進	コンテナ貨物取扱量(空コンテナを除く。)(年間) 【R1】21,411TEU ↓ 【R6】23,000TEU	1 ポートセールスや貨物集荷奨励事業、荷役効率の向上などにより競争力の強化を図ります。	商工港湾課	物流等対策事業	149	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、県内外の企業訪問を行い、新規貨物の取り込みのため、県とも連携してポートセールス活動を行うとともに、コンテナ補助等のインセンティブについても、他港の情報収集を行いながら、適宜見直しを行います。	港湾利用者への接触	50	社	57	A	コロナ禍に加え、世界的なコンテナ不足の影響は受けたものの、大型RORO船が着岸可能な19号岸壁の事業化が決定されるなど、節目の1年となりました。	奨励補助について、他港との競争力で劣ることの無い補助の在り方を検討する必要があります。	引き続き、県や関係機関と連携してポートセールス活動を行い、貨物量の増加につなげます。
16				コンテナ貨物取扱量(空コンテナを除く。)(年間) 【R1】21,411TEU ↓ 【R6】23,000TEU	2 RORO船の貨物集荷、増便を促進します。	商工港湾課	物流等対策事業	149	横須賀市や大阪府、大阪市などと連携を図り、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議・検討を行います。 港運事業者や関連団体と連携し、インセンティブの充実を図ることで、物流の効率化やモーダルシフトを推進します。	市内企業のRORO船の大型化により、貨物量の増加が期待されましたが、コロナ禍により増加のスピードが鈍化しています。また、増便に対応する岸壁が受け入れ先である大阪府・大阪市ともに不足しているため、引き続き調整や支援が必要となります。	横須賀市や大阪府、大阪市などと連携を図り、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議・検討を行います。						
17				-	3 細島臨海工業団地に隣接した岸壁の整備を促進します。	商工港湾課	重要港湾等整備事業	148	国、県はもとより、関係機関や地元との更なる連携を図るとともに、港湾協会等を活用し、細島港の整備と機能の充実を推進します。	国・県への要望回数	3	回	3	A	積極的な要望活動が実を結び、同一港湾としては異例とも言える、16号岸壁に引き続いての19号岸壁の事業化が決定されました。	事業化を目指す20、21号岸壁及び18号岸壁の整備については、国・県への要望と合わせて、関係者との調整に十分な協議と説明が必要となります。	引き続き、関係機関と連携し、各種岸壁整備の事業化に向けて取り組めます。



様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
18	2 活を生み出すにぎわいづくり	2 活を生み出すにぎわいづくり	1 細島港の能強化と物流促進	-	4 「みなとオアシスほそしま」を中心とした港湾のにぎわい創出に取り組めます。	商工港湾課	みなとオアシス推進事業	149	みなとオアシスほそしま協議会を中心に、県や地元団体、企業等と連携して、「細島港商業港地区の活性化に向けた将来構想」に基づく取組を推進します。また、「みなとオアシス」九州ブロック協議会に参加し、地域間連携に取り組めます。	みなとオアシスほそしま協議会会議等への出席回数	5	回	4	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一昨年同様、計画通りの事業実施はできなかったものの、感染状況を見ながら行ったクリスマスイベントでは、多くの来場者がみなとオアシスを訪れ、大いに賑わいました。また、今後の情報発信のツールとして、有志によるPR動画撮影を行い、今後のPR素材が完成しました。	観光業同様、人の移動を伴うみなとオアシスの賑わい創出については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなります。また、事業を行うにあたっての人員不足についても、今後の課題となる可能性があります。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、どのような手法で賑わいを創出していくのかを今一度見直し、効果的な情報発信を行っていきます。
19	2 活を生み出すにぎわいづくり	2 活を生み出すにぎわいづくり	2 活を生み出した新たな産業の拡大	-	1 東九州メディカルバレー構想に基づき、地元企業の医療機器産業への新規参入を支援します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	東九州メディカルバレー構想に基づき、県や他市町村と連携して、医療関連ビジネスへの参入を目指す地場企業への継続的な支援に取り組んでいきます。	企業訪問等の企業への接触	100	社	180	A	継続して製品開発を行う事業者はあるものの、圏域における市内事業者の新規参入の相談はありませんでした。	医療関連ビジネスは、製品開発や品質管理などにおいて新規参入のハードルが高く、難しい面があります。	協議会と連携しての市内事業者への情報周知を含め、事業の効果向上に向けた見直しを行います。
20	2 活を生み出すにぎわいづくり	2 活を生み出すにぎわいづくり	2 活を生み出した新たな産業の拡大	-	3 再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた研究開発や事業に対する支援を行います。	商工港湾課	企業誘致推進事業	147	引き続き、マグネシウム循環社会構想推進協議会に参加し、情報収集や意見交換を行います。また、再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた支援や各種調整を行っていきます。	再生可能エネルギー関連会議等への参加回数	1	回	1	A	マグネシウム循環社会構想推進協議会の会議に参加し、情報収集や意見交換を行いました。	マグネシウム循環社会構想推進協議会が取り組んでいるプロジェクトについてはハードルが高く、また、研究・実証実験段階であり、事業化にはかなりの時間が必要と思われる場合があります。	マグネシウム循環社会構想推進協議会のプロジェクトは、事業化にはかなりの時間が必要と思われる場合があります。関連企業との接触機会としては貴重なものとなっているため、引き続き、意見交換を継続していきます。
21	2 活を生み出すにぎわいづくり	2 活を生み出すにぎわいづくり	7 観光4 駅の活性化	-	1 食の魅力や特色あるお土産品など、様々なメディアを活用し、国内外へ向けた情報発信に取り組めます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	旅行先選定の大きな要素であるその土地ならではのグルメやお土産品などを、観光情報とともに広く情報発信し、市外からの誘客につなげていきます。	ロケ誘致件数等	10	件	31	A	観光ドラマや旅行番組等のさまざまな機会を捉え、メディア露出を図ることで、日向の観光地や新たな取り組み、また日向の食などをPRすることができました。	まずは域内観光を推進するうえで、地元TV局や報道機関などと連携を深める必要があります。	引き続き、地元TV局や報道機関などに新鮮な情報を提供し、旬な情報をいち早く届けることができるよう、SNSなどを多用しながら情報の発信や提供に努めていきます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
22		2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	7 観光4駅の活性化	-	2 市外の観光イベントなどへ参加し、販売促進に取り組めます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	ウィズコロナ期においては、近隣自治体や隣県など、マイクロツーリズム層を意識した近場のイベント等に積極的に参加します。	県内外イベント等参加件数	6	件	2	C	コロナ禍により県内外におけるプロモーション機会として活用してきたイベント等は大半が中止されたが、東京新宿KONNEの催事には参加することができ、日向観光や日向の食をPRできました。	今年度においては、コロナ禍にあっても、PRイベント等は開催されると想定されるため、十分な感染対策を講じ、誘客活動に努める必要があります。	コロナ禍にあっても全国的にPRイベント等が開催されると考えられることから、積極的に市外イベントに参加しプロモーションを展開することで、市外からの誘客を図っていきます。
23	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	1 地域資源を生かした観光交流の推進	観光入込客数(年間) 【R1】 1,486,000人 ↓ 【R6】 1,532,000人	1 差別化された観光プロモーションや「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの造成に取り組めます。	観光交流課	[新型コロナ対策]観光誘客再起事業	378	ウィズ・アフターコロナ期においては、「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案し、収束を見据えた観光客の再誘客のための事業を展開していきます。	観光入込客数(年間)	1,263,000	人	810,328	C	日向ファン拡大プロモーション事業のリリース時期が、東京2020オリンピック開催やコロナの感染爆発と重なり、想定していたほどメディアへ取り上げられませんが、その後の推進事業において動画再生回数は32万回を超えるなど、国内へ向け着実に観光情報を届けることができました。	コロナ禍により、予定した事業の半分が実施することができませんでしたが、国の地方創生交付金を活用して、継続した取り組みが求められます。	短歌を軸としたプロモーションを継続することで、本市が誇る短歌文化や豊かな地域資源などを、さらに発信し、関係交流人口の拡大に努めていきます。
24					2 既存観光資源や5つの観光拠点伊勢ヶ浜門前まち、細島地区、美々津地区、東郷地区、中心市街地)を生かした周遊型観光を推進します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	観光関連産業のV字回復や、アフターコロナ期の旅行需要、その後のインバウンド需要の回復を見据えた新たな観光戦略を策定します。						コロナ禍で疲弊した市内観光関連産業の再起を図るべく、市内の観光関連事業者等とともにポストコロナ観光戦略(計画期間3カ年)を策定しました。	戦略では6つの基本施策を掲げ、3つの重点施策を推進していくこととされていますが、一日も早い目標達成のためには、観光関連事業者や様々な業種がそれぞれの役割に応じた、連携した取り組みが不可欠です。	観光戦略の基本施策である1.観光地域づくりの実践 2.受け入れ体制整備とおもてなしの実践 3.広域連携の推進強化 4.効果的で継続的な情報発信の強化 5.スポーツ環境を活かした誘客の推進 6.戦略の効果的な推進に取り組めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
25	2 活をみ出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	2 広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり	観光入込客数(年間) 【R1】1,486,000人 ↓ 【R6】1,532,000人	1 インフラツーリズムやサイクルツーリズムなど、県や近隣市町村と連携し、効果的な広域観光事業に取り組みます。	観光交流課	広域観光ルート推進事業	150	マイクロツーリズム層をターゲットに絞り、圏域の魅力をSNSなどを活用して情報発信し、さらに新しい生活様式に対応した新たな観光コンテンツの充実に取り組みます。	観光入込客数(年間)	1,263,000	人	810,328	C	域内観光を推進するためのドライブマップの増刷、また県の補助金を活用し需要の高まっているサイクルマップを作成しました。さらに、広域観光情報のSNS発信にも積極的に取り組みました。	域内の商業施設やルート沿いの住民などに、圏域外から訪れたサイクリストをもてなす気運の醸成を図る必要があります。	圏域商店や住民などにトイレや水場などの協力を依頼し、サイクリストが安全に安心して走れるひゆうが奥日向路を目指します。さらにパーキングエリアやレンタカー店、またサイクルショップなどに作成したマップを配布し、活用に努めます。
26	2 活をみ出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーフタウン日向の推進	サーフィン等利用客数(年間) 【R1】253,592人 ↓ 【R6】260,000人	1 サーフィンを核とした観光プロモーションを展開し、国内有数のサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営とPR動画の配信、リアルタイムでの波情報の提供、インスタグラムを活用したサーフスポットの情報発信していきます。	サーフィン等利用客数(年間)	215,553	人	128,415	C	コロナ禍による海水浴場の利用制限についての情報を発信し、利用者への理解に努めました。また、インスタグラムによる情報発信により、お倉ヶ浜をはじめとした本市の魅力を広く発信しました。	ホームページの情報発信に加え、SNS等もこれまで以上に魅力ある発信を続けていくことが必要です。	ビーチイベントやサーフィン大会等はもとより様々な情報をタイムリーに発信し、本市のファン拡大に努めます。
27	2 活をみ出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーフタウン日向の推進	サーフィン等利用客数(年間) 【R1】253,592人 ↓ 【R6】260,000人	2 国内外のサーフィン大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	開催が予定されている国際サーフィン大会や国内の大会をサポート、PRしていくことでサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	サーフィン等利用客数(年間)	215,553	人	128,415	C	コロナ禍の影響を受け、医科歯科大学サーフィン大会、国際サーフィン大会は中止を余儀なくされました。	大会開催の可否については、全国的なコロナの感染状況や各サーフィン大会の主催者の意向に左右されますが、大会が開催される場合には感染防止対策に最大限努め、安全・安心な環境を整えておく必要があります。	大会主催者と連携を密に取りながら、感染防止を図った大会開催の協力・支援を行います。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書 頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
28	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーフタウン日向の推進	サーフィン等利用客数(年間) 【R1】 253,592人 ↓ 【R6】 260,000人	3 ビーチを楽しむ環境づくりに取り組みます。	観光交流課	ビーチイベント開催事業	153	9月に予定しているビーチイベントの開催やサーフィン教室、定着しつつあるビーチアルティメット大会をサポートしていきます。また、感染状況を見ながら検温所の設置などを検討していきます。	サーフィン等利用客数(年間)	215,553	人	128,415	C	コロナ禍の影響を受け、ビーチイベント、ビーチアルティメットは中止を余儀なくされました。コロナ対策として、お倉ヶ浜海水浴場に検温場の設置やサーモセンサーを設置し、感染拡大防止に努めました。日向海上保安署が実施する水難防止訓練に参加し、連携強化を図りました。	市主催の各種行事等との整合性を図り、コロナの感染状況に応じたイベントの開催に取り組んでいく必要があります。	コロナ感染防止を徹底したイベントを開催し、市民や観光客が安全、安心にお倉ヶ浜に訪れ、楽しんでいもらう機会を創出します。
29	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーフタウン日向の推進	サーフィン等利用客数(年間) 【R1】 253,592人 ↓ 【R6】 260,000人	4 滞在型観光メニューの開発に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	リラックスサーフタウン日向基本構想に基づき、サーフィン以外でも多様な楽しみ方ができる環境づくりに務めます。	「地方コト消費型」観光メニューの開発数	3	個	0	C	コロナ禍にあって、さまざまな体験メニューを企画するも、造成、催行するに至りませんでした。	サーフィンを軸とした体験メニューの造成には限界があり、観光戦略の重点施策のひとつに掲げた、一般旅行者の滞在時間の延長につながり、観光消費拡大に効果的な、滞在型体験メニューの造成にシフトしていくことが必要です。	観光客誘致推進事業に統合
30	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーフタウン日向の推進	サーフィン等利用客数(年間) 【R1】 253,592人 ↓ 【R6】 260,000人	5 お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	153	駐車場に隣接する民有地の状況を調査し、各地権者の意向を確認しながら、有料化に向けて検討していきます。	サーフィン等利用客数(年間)	215,553	人	128,415	C	有料化の検討にあたり、PPPやPFIの手法の導入可能性について民間事業者や内閣府専門官派遣制度を活用しました。その結果、有料化による収益性の可能性はあるとのことでした。	有料化による収益性等については可能性がありますが、コロナ禍により駐車場に隣接する民有地の地権者や関係者等の意見集約が十分にできていない状況です。	地権者や関係者等の意見聴取を十分に行い、有料化に向けた更なる調査・研究に取り組めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性	
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況				
31	2 活をみすぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	4 牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり	-	3 新しい生活価値観や野外キャンプの需要の高まりに合わせ、地域の魅力を広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	観光拠点の魅力の一つとなりえる牧水庵貸出の公募条件等を見直し、再度公募を実施します。また、日向ファン拡大プロモーション及び推進事業により、誘客に務めます。				0	C	牧水庵の有効活用については、昨年度条例を改正し、民間への貸し出しする公募を実施しましたところ、令和3年8月1日に、美郷町ジビエ振興協議会と公有財産貸付契約書を締結しました。	美郷町ジビエ振興協議会が経営する「ジビエバーガーを主軸とした飲食店」の継続について契約者との協議が必要です。	店舗の運営について、契約者との協議を進めます。また、日向ファン拡大推進事業や体験型観光コンテンツ造成により、新たな誘客に努めます。	
32			5 重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり	-	1 滞在型・体験型観光メニューの造成を支援し、広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	150	民宿やゲストハウス、またカフェなどの民間事業者と連携して、マイクロツーリズムやワーケーションも意識した滞在型・体験型観光コンテンツの造成をすすめます。	「地方コト消費型」観光メニューの開発数	10	件		0	C	観光戦略策定時のワークショップにおいて、様々な業種の観光関連事業者等に参画してもらい、さまざまなアイデアや企画案を聴取しました。	最終的には、各コンテンツ提供事業者が自走化できる取り組みとしたいが、収益化するには、息の長い支援が必要です。	体験型観光コンテンツ造成協議会を組織し、さまざまな観光関連事業者が連携し、市民や事業者の取り組みを支援していきます。
33			6 スポーツタウンの推進	-	1 プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプ、大会の誘致及び環境整備に取り組みます。	観光交流課	スポーツキャンプ活性化事業		152	プロ野球やプロサッカーチームのキャンプのほか、集客性のあるスポーツイベント等を県や関係機関と連携して誘致し、観光誘客と地域経済の活性化を目指します。	プロ及び社会人等チームキャンプ誘致数	3	チーム		2	C	令和3年度は社会人野球の2つのチームが本市でキャンプを実施しました。	コロナ禍によりスポーツの誘致活動が進んでいない状況です。また、ニーズに応じた環境の整備を計画的に図ることが必要です。



様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
34	2 活をみ出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	8 新たな関係人口の創出	市内宿泊者数(年間) 【R1】 172,000人 ↓ 【R6】 177,000人	1 旅行者や全国のひよっこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。	観光交流課	【観光】 [新型コロナ対策] 観光消費喚起事業 観光誘客再起事業  【商工】 [新型コロナ対策] ワーケーション推進事業	378  375	【観光】 日向ファン拡大プロモーション事業の成果物等を活用し、さらに推進事業により参加体験型観光イベントを実施することで、さらなる関係人口や移住者の増加を図ります。  【商工】 ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	市内宿泊者数(年間)	146,000	人	124,980	B	【観光】 コロナ禍の人流制限により、予定していた日向ファン拡大推進事業のうち、直接的に誘客につながる事業は実施できませんでした。  【商工】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開始時期の延期や予約のキャンセル等があったものの、現地でのワーケーション参加者が55名、代替事業として行った副業人材を活用したワーケーション課題解決調査に25名が参加しました。また、一連の取組が県内の先進事例として報道等で大きく報じられました。	【観光】 観光地としての認知度向上や今後の誘客や関係交流人口の拡大のためには、継続したプロモーションや情報発信が不可欠です。  【商工】 過去の実証実験の中でも課題として指摘されている2次交通対策は継続の課題であると認識しています。	【観光】 プロモーション事業の成果物等を有効に活用し、また国の地方創生推進交付金を活用し、新たな誘客事業を展開することで、交流人口の拡大に努めます。  【商工】 市民バスの活用はもちろん、2次交通対策として有効な施策の調査研究を進めます。
35	4 自然が豊かなまちづくり	3 自然が残る美しいまちづくりプロジェクト	4 空き家の適切な管理と利用	-	2 空き家・空き店舗を移住者向け住居やワーケーションなどに活用します。	商工港湾課	[新型コロナ対策] ワーケーション推進事業	375	ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	ワーケーション実証実験への参加者数	90	人	80	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開始時期の延期や予約のキャンセル等があったものの、現地でのワーケーション参加者が55名、代替事業として行った副業人材を活用したワーケーション課題解決調査に25名が参加しました。また、一連の取組が県内の先進事例として報道等で大きく報じられました。	ワーケーションで活用する施設については、物理・情報セキュリティ面だけでなく、交通アクセスや通信環境など、クリアすべきさまざまな要件があるため、しっかりと活用に向けた検討を重ねる必要があります。	日向市におけるワーケーションオフィスについては、市が直営で運営する形態ではないため、活用していくのであれば、補助制度の創設等、支援体制の検討が必要となります。

様式1-3 その他に取組む重点事業

【商工観光部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性
1	3 産業振興	4 商工業の振興	① 活力ある商業の振興	商工港湾課	商工会議所等運営補助事業	144	市内商工業者数が減少する中、日向商工会議所及び東郷町商工会の活動を支援し、市内商工業者の経営安定、起業・事業承継の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日向商工会議所及び東郷町商工会に対し運営補助金を交付します。</li> <li>日向商工会館の利活用を促進するため、市民交流プラザの運営に対し補助金を交付します。</li> <li>日向商工会議所及び東郷町商工会の行う小規模事業者経営改善普及事業の実績に応じ補助金を交付します。</li> </ul>	完了	日向商工会議所、東郷町商工会に対する運営補助金、小規模事業者経営改善普及事業補助金等を交付し、商工業者への経営指導体制の充実・強化を図りました。 また、定期的に連携会議を開催し、事業の進捗確認、情報共有を図りました。	維持
2				商工港湾課	ふるさと融資事業	147	令和元年度末に就航したRORO船の造船に際し、ふるさと融資制度を活用し、市内事業者への無償貸し付けを行ったほか、保証料に係る補助制度を創設しました。	ふるさと融資制度を活用し、新規造船を行った市内事業者の保証料について、支援を行います。	計画どおり	対象となる市内事業者に対し、ふるさと融資物流等支援事業補助金(3年目)を交付しました。	維持
3				商工港湾課	商工業振興事業	145	就業率が低下する中、市内商工業者の経営安定や勤労意欲の向上を図るため、関係団体等と各種事業の調整を行うとともに、表彰事業等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工施策を総合的かつ計画的に推進するため、中小企業振興会議を開催します。</li> <li>優良従業員の表彰及び優れた技能者の認定を行います。</li> <li>ものづくりの優れた技術の普及啓発を図るため、「技能まつり」の開催を支援します。</li> </ul>	計画どおり	11月に、日向市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき日向市中小企業振興会議を開催し、コロナ禍における市内中小企業等の実態把握及び振興施策に関する意見交換を行いました。 12月には、優勝従業員の表彰(12人)を行いました。 技能まつりについては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止となりました。	維持
4			② 高度な技術力を生かした工業の振興	商工港湾課	地場産業振興事業	146	コロナ禍によりイベント等が中止となり、地場産品を展示即売する機会が減っていることから、地場産業振興団体の活動を支援し、展示即売会等の開催を促します。また、全国唯一のはまぐり基石の産地として、基石産業の活性化と囲碁文化の普及を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>販路拡大や事業者の活力向上を図るため、日向物産振興協会及び日向市地場産業振興対策協議会の活動を支援します。</li> <li>「国文祭・芸文祭みやざき」の一環として行われる「囲碁サミット」及び「はまぐり基石まつり」の開催を支援します。</li> </ul>	計画どおり	日向物産振興協会に対して補助金を交付し、地場産品の販路拡大、販路促進に取り組む事業者間の活動を支援しました。 また、耳川流域地場産業振興振興対策協議会の事務局として、日向入郷地域の地場産業の振興事業に取り組みました。 はまぐり基石まつりについては新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりました。 10年ぶりに本市で開催予定であった「囲碁サミット」については、開催直前に同感染症が拡大し中止となりましたが、加盟市町村より承認を受け、次期開催地(広島県尾道市)へ大会を引き継ぎました。	縮小

様式1-3 その他に取組む重点事業

【商工観光部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性
5	3 産業振興	5 雇用の確保と創出	① 就業の場の確保と雇用の創出	商工港湾課	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	143	就業率が低下する中、雇用の確保・創出を図るため、国の「地域雇用活性化推進事業」を受託する日向市地域雇用創造協議会の活動を支援します。	国の「地域雇用活性化推進事業」を受託し、委託料が振り込まれるまでの事業費の貸し付けを行います。	計画どおり	令和3年10月から厚生労働省の地域雇用活性化推進事業に取り組む日向地域雇用創造協議会の運営再開を支援しました。 10月以降は同協議会が雇用の創出等を目的に取り組んでいる求職者や事業者を対象としたセミナーや就職説明会の開催を支援しました。	維持
6		5 雇用の確保と創出	① 就業の場の確保と雇用の創出	商工港湾課	就業支援に要する経費	143	雇用の確保・創出を図るため、誰もが活躍できる仕事づくりを目指し、ワークライフ・バランスの推進等働く環境の整備・充実に努める必要があります。	労働者が長く働き続けられる環境を目指し、企業の労働環境の改善を支援します。また、ワーク・ライフ・バランス等を推進し、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりを支援します。	計画どおり	令和3年11月に開設した就職情報サイト「ひゅうがJOBナビ」を活用し、ワークライフバランス等に取り組む市内企業の紹介や労働環境の改善に関するセミナー等の案内を行いました。	維持

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	全課	市ホームページや広報誌を有効に活用し、コロナ関連施策をはじめ、商工観光各般の情報発信を行います。	計画どおり	広報推進員を中心に、市ホームページや市報、新聞等に商工観光部門に関する記事を掲載し、各種事業の周知啓発を図りました。
2			全課	各部署において、外部団体等を通じた情報収集を行い、市民ニーズに対応した的確な情報発信を行います。	計画どおり	関係団体との連携会議や各種アンケート調査等を通じて市民ニーズを把握し、各種事業に反映しました。
3		職員の育成	全課	地域防災計画等に基づき、各種訓練への参加を通じ、対応能力の向上に努めます。	計画どおり	情報伝達訓練や避難所職員を対象とした研修会等に参加し、防災対応能力を高めました。 地震及び台風時に公共施設や誘致企業施設等の被害調査を速やかに行いました。
4		市民に開かれた市役所づくり	全課	接遇マニュアル等を遵守するとともに、市民の目線に立った対応をすることで、窓口利用者の利便性の向上に取り組みます。	計画どおり	接遇マニュアルに則り、窓口利用者に対するわかりやすい説明や親切・丁寧な対応を心がけ、利用者の利便性の向上に努めました。
5			全課	市ホームページ等を活用し、電子行政サービスの充実を図ります。	計画どおり	市ホームページを活用し、速やかに各種事業の情報を掲載し、申請様式のダウンロード化によるサービスの充実化を図りました。
6		情報公開と個人情報の保護	全課	個人情報保護条例等に基づき、個人情報の適切な対応に努めます。	計画どおり	個人情報保護に係る研修等に参加し、各種事業の制度の適正な運用を図りました。
7	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	全課	事務事業評価に基づき、事業効果や費用対効果を総合的に判断し、統廃合を含めた事務事業の見直しを行います。	計画どおり	部局経営方針の策定・評価等を通し各事業の見直しを行い、新年度予算に反映しました。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
8	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	全課	日頃の定例会等を通じ、部内の課題共有をはじめとした情報共有を図ります。	計画どおり	部内、課内、係内の連絡会議を随時行い、情報共有・課題解決を図りました。
9			全課	外部団体と連携し、民間活力との協働による取り組みを推進します。	計画どおり	関係団体等との連絡会議を密にし、民間活力を一体となって各種事業に取り組みました。
10			全課	ICT利活用による業務効率化の可能性について、調査研究を行います。	計画どおり	ICT利活用に関する情報を収集し、事務処理の効率化に生かすよう心がけました。
11	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	全課	効率的な業務管理により、職員のワークライフバランスの向上に努めます。	計画どおり	業務分担の見直しや職員の休暇取得等を推進し、ワークライフバランスの向上に努めました。
12	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	観光交流課	(株)日向サンパーク温泉 平成26年度から赤字が続いており、債務超過となっていたため、「温泉館」の経営継続を断念し、経営改善に取り組む。また、誘客を図るため、休館中の温泉館について施設譲渡により民設民営による再開を目指すとともに大型遊具等施設整備を行う。	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型遊具等整備工事の実施</li> <li>・ドッグラン整備工事の実施</li> </ul>
13			観光交流課	(株)東郷町ふるさと公社 コロナ禍により急激に落ち込んだ利用者を回復するために、老朽化した施設等の整備を行うとともに、牧水庵を民間へ貸し出すことで有効活用を図り、観光誘客などの支援を行う。	遅れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの家外壁改修工事(南側)の実施</li> <li>・牧水庵の民間貸出し(マウンテンバーガーズクラブ)</li> </ul>



様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
14	未来につながる 財政運営	適正な財政 運営	全課	事務事業評価に基づく補助金の効果検証を行い、見直しを検討します。	計画どおり	事務事業評価等に基づき委託業務や補助金の効果検証を行い、次年度予算に反映しました。
15		自主財源の 確保	全課	周辺市町村の事例等も参考にしながら、公平な使用料、手数料の見直しを検討します。	計画どおり	県内市町村の状況を参考にしながら、使用料、手数料徴収の適正化に努めました。